

2009年度 事業報告

1. 認証・ライセンス業務

1-1 ライセンシーなど参加組織数とライセンス料 (2010年3月31日時点)

- FLJ登録組織（輸入、製造、卸、販売業者など）： 91組織
- ライセンシー（最終製品の販売者・ブランドオーナー）： 59組織
- フェアトレード認証製品推定市場規模： 約14億7千万円
- ライセンス料収入： 14,672,849円

ライセンシーの組織数は大きな伸びを見せたものの、ライセンス料収入は前年とほぼ横ばいだった。主な原因は、

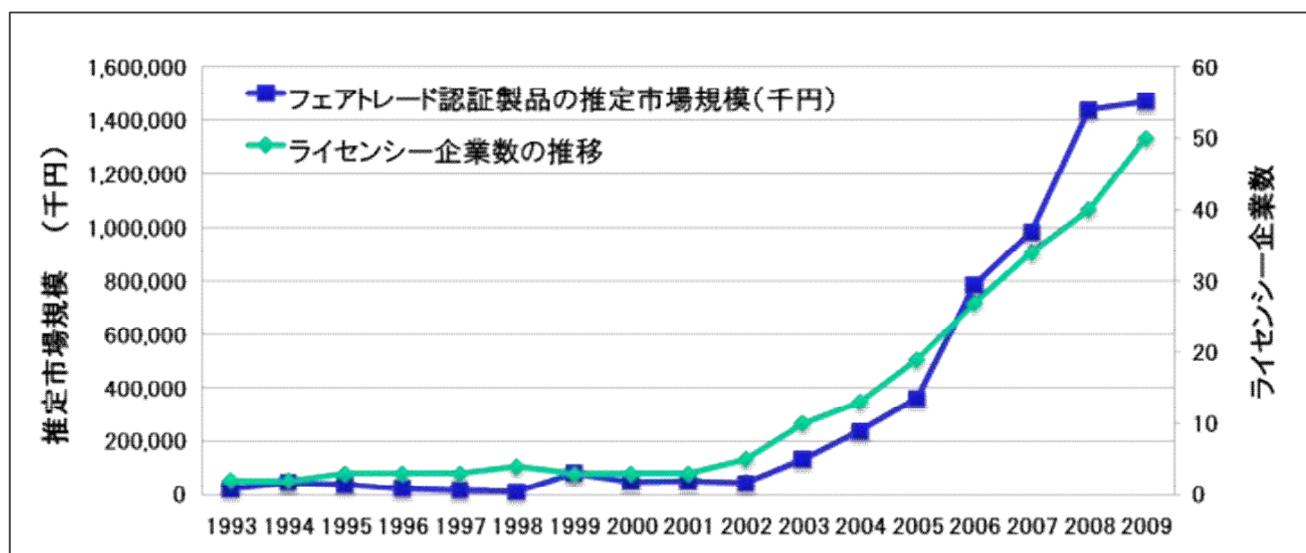
- ・エチオピア産モカコーヒーの輸入減少（注1）
- ・FLO認証バナナが流通されなくなったこと（注2）

ライセンス料の7割以上をコーヒーが占め、その中でもモカ製品が主力であった日本のフェアトレード認証市場にとって、大きな打撃となった。

（注1） エチオピアモカから基準値以上の残留農薬が検出され、フェアトレード認証モカに限らず、すべてのモカコーヒーが実質輸入されなくなった。現在では輸入を再開している企業もある。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/05/h0509-6.html>

（注2） 生産者組織が、FLO認証から別の認証に切り替えたことによる。



1-2 主な新製品

商品名	発売年月	ライセンシー（販売元）
FLO 有機コロンビア 他 各種	2009年4月	(株)ethicafe
Organic Darjeeling Tea 他8種	2009年5月	(株)エヌ・ハーベスト
フェアトレード・オーガニック グアテマラ	2009年6月	(株)ウエシマコーヒーフーズ

フェアトレード認証オレンジ果汁入り飲料	2009年7月	トース(株)
有機スパイスシリーズ 全20品目	2009年7月	エスピー食品(株)
フェアトレードティーオレ	2009年6月(期間限定)	トーヨービバレッジ(株)
フェアトレード・カフェオレ	2009年8月(期間限定)	トーヨービバレッジ(株)
Bioココアパウダー	2009年4月	わかちあいプロジェクト
Bio白砂糖	2009年4月	わかちあいプロジェクト
有機はちみつ オレンジ・ひまわり・複数	2009年10月	わかちあいプロジェクト
パレスチナ産 オリーブオイル・オリーブ	2009年10月	わかちあいプロジェクト
フェアトレード絹豆腐	2010年3月	わかちあいプロジェクト
フェアトレード納豆	2010年3月	わかちあいプロジェクト
アールグレイ 微糖 350ml	2009年4月	(株)良品計画
紅茶ティーバック バニラ	2009年11月	(株)良品計画
紅茶ティーバック アップル	2009年11月	(株)良品計画
フェアトレードブレンドコーヒー	2010年3月	(株)良品計画
ケニア紅茶ティーバッグ	2009年11月	ラボテック(株)
FLO グアテマラ・ドリップパック	2010年1月	珈琲工房ひぐち
ミトラティー有機紅茶ウバ	2010年2月	(株)リタトレーディング
フェアトレードコーヒー・グアテマラ	2010年2月	honu 加藤珈琲(株)
フェアトレード認証オレンジゼリー	2010年2月	(株)ニチレイフーズ

1-3 規定類整備と料金改定

主な変更内容は、

- FLO-CERT との管轄区分の整備 (管轄の混在を無くす)
- 2011年12月31日までの今後2年間で、既存企業も新料金規定へ移行
 - ー輸入業者・製造業者・卸業者の年間登録料 (ライセンス兼務の場合も発生)
 - ー年間ライセンス登録料の導入 (一定のライセンス収入を確保し、監査費用を捻出)
- 小規模ライセンス規定の導入 (自家焙煎店などでも取り組みやすい制度を導入)

2. 監査業務

2-1 ライセンス等の監査

2009年度監査計画に従い、監査人寺田寛重氏により、FLJとライセンス契約及び製造・卸業者認証契約を締結しているライセンス及び製造・卸業者並びに輸入業者(以下、オペレーターOPという)に対する監査を実施。

<実施状況>

輸入業者+ライセンス	2社
製造・卸業者+ライセンス	3社
製造・卸業者	3社
輸入業者+製造・卸業者+ライセンス	1社

合 計	9 社
-----	-----

<監査の結果から、FLJ が OP 等に対して指導が必要な項目>

- ① プレミアムの支払いについて、支払い遅延、金額不明、どこが払うのか不明など。
⇒⇒ プレミアムの支払い時期及び支払い方法について指導すること。
- ② 取引書類及び現物に「FLO フェアトレード認証、ID 番号」「ロット番号」の記載がない。
⇒⇒ 取引書類及び現物へのトレーサビリティの徹底を指導すること。
- ③ 加工を外部委託しているが「委託製造申請書」がない。
フェアトレード基準、ラベルについて、OP は加工委託先を管理していない。
⇒⇒ 加工委託業者の申請及び委託先管理について指導すること。

2-2 FLJ の内部監査

2009年8月28日、監査人寺田寛重氏によるFLJに対する内部監査を実施。

<監査での指導点>

- ① OP 等の増加、契約形態の増加などから事務処理量が格段に増加している。事務処理体制の整備が望まれる。
- ② FLO-CERT の認証制度との一貫性を持たせる上でも、業者認証基準の明確化、業務基準書の作成が求められている。OP 許可基準の明確化や業務手順書の作成はかなり図られてきたが、認証手続き、取消手順、意義申立て手続き、認証と監査実施手順などについて明確化を図る必要がある。
- ③ 役員規定などを制定し、機密遵守責任を明確にすること。
- ④ ライセンシーから四半期ごとの販売報告の提出が遅い。報告期限を指導すること。

2-3 監査規定化の整備

対象企業、監査頻度、認証停止・取消手順等の規定整備は2010年度の最優先課題。

2-4 ISO65 化に向けた取り組み

2009年12月に認証・ライセンス規定、および料金規定の改定を発表。FLO-CERT との管轄区分を整理。

3. 普及啓発・広報事業

3-1 2009 年度の主な活動

年・月	主な活動
2009年4月	フリーペーパーFAIRspirits vol.3 5万部発行 (※1)
2009年5月	2009 フェアトレード月間キャンペーン (※2) ・教育ツール作成 (カメルーン・コットン生産者のDVD 日本語字幕版作成) ・「生産者来日講演会」・「写真展 フェアトレードの現場場から写真展」開催
2009年5月	サポーター募集開始
2009年8月	メルマガ配信開始
2009年11月	第3回ライセンシー意見交換会
2009年11月	第1回サポーターの集い開催
2009年12月	認証・ライセンス規定と料金規定の改定

2010年2月	FLO 副理事長イアン・ブレットマン来日
2010年3月	フリーペーパーFAIRspirits vol.4 発行 (5万部)

(※1) 大竹財団からの助成事業

(※2) 東京ガス環境おうえん基金からの助成事業

3-2 メディア掲載 (単位:回)

新聞	9
ラジオ	4
テレビ	4
情報サイト	6
雑誌	3
その他	23
合計	49

3-3 書籍・教材掲載 (単位:回)

書籍	12
教材	7
副教材	2
その他	4
合計	25

3-4 セミナー・シンポジウム等での講演 (単位:回)

講演数	22
-----	----

3-5 会員・サポーター・メルマガ登録数 (単位:人)

会員	16
サポーター	32
メルマガ登録数	690

4. 事務局運営

2009年度は特に組織基盤強化に注力した。

- 認証・ライセンス規定類の整備
- サポーター制度の導入
- FLO およびイギリス財団に FLJ 発展のための支援を要請
 - ・ 2010年2月 FLO 来日 (ライセンシー企業との対話、国際シンポジウムへの参加)
 - ・ 事務所移転支援
- 「パナソニック NP0 サポートファンド」 から 140 万円の助成

2010年度事業として「ビジネスモデル検討とライセンス・認証業務管理ツールの構築」に取り組む

- ・ 活動方針、事業戦略の策定
- ・ 内部規定の整備
- ・ オンライン申請・登録システムの導入

特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン (FLJ)
2010年6月8日 通常総会 配布資料